



文部科学省 補助事業

産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業

採択プログラム



WASEDA
University

リ・バッテリー・アカデミー

～産官学連携による蓄電池高度人材育成プログラム～

2026年8月3日

早稲田大学理工学術院 教授
所 千晴

産官学で急務となる蓄電池人材育成と本学の研究教育基盤



WASEDA
University

経産省「蓄電池産業戦略」

【目標】 2030年までに年150GWhの
蓄電池製造能力を国内で確保

サプライチェーン全体で
3万人の人材が必要

産官学連携全国
ネットワーク

BATON設立

2025.10.14

産 GSユアサ, トヨタバッテリー,
パナソニックエナジー, PPES
官 経産省, 関東経産局, 近畿経産局,
九州経産局
学 **早稲田大学**, 名大, 京大, 立命館, 東大,
兵庫県大, 静大, 同志社, 阪大, 九大

早稲田大学の研究教育基盤 日本有数の研究力を駆使した、次世代電池に関する多数の実績

電池研究に関する近年のプレスリリース等の例

【次世代電池の材料・解析技術】

- ・二次元材料「MXene」の電池反応を可視化（2026年2月）
- ・高性能・高耐久な燃料電池用電解質膜の開発（2026年2月）
- ・安全安価なアクア電池を長寿命化（2024年10月）

【リサイクル・資源循環】

- ・三元系リチウムイオン電池の「無力化・完全廃棄技術」を確立（2025年6月）
- ・高電圧パルスによる正極材の非破壊分離（継続研究）

【エネルギー管理・次世代太陽電池】

- ・近赤外光を利用可能なペロブスカイト太陽電池（2025年10月）
- ・工場エネルギー管理システム（FEMS）の構築（2023-2027年度）



最先端の電池診断解析技術

リ・バッテリー・アカデミーでの学びの特徴

蓄電池は、カーボンニュートラル社会、そしてデジタル社会の実現において欠かすことのできないキーデバイスであり、日本の重要戦略物資である。その発展を支えるために技術的専門性と産業的視野を併せ持つ人材の育成が必要となる。

早稲田大学の電池工学教育を企業人向けに再構築し、大学院接続も考慮したプログラムを設計
早稲田大学の在學生と本プログラム受講者との交流を通じた相互理解と共創を目指す

Pillar 01

産官学のトップランナーによる 最先端の講義

- 早稲田大学の専任教員・経済産業省・BASC会員企業の実務家による最先端の講義
- 電池のビジネス概論から製造技術、電池設計、リサイクルまで、幅広く学修

領域全体の広い視座を育成

Pillar 02

現場視察とプロジェクト型演習

- 蓄電池製造企業やリサイクル企業の現場視察を実施
- 各研究室にて「プロジェクト型演習指導」を実施

実践的な課題解決力を育成

Goal (03)

大学院進学や共同研究・ 事業化へのステップアップ

- プロジェクト型演習指導を通じて、大学院での学びを体験
- 企業と大学の共同研究の入り口となる実践的な取り組みを推奨
- 早大在學生との交流を実施

産学連携高度人材を育成



目指す人材像

蓄電池の資源・材料・製造・評価・利用・循環・環境評価まで、サプライチェーン全体を俯瞰できる産業界の高度専門人材

(産学官連携高度人材として、ルーブリック※のA～A+を目指す)

※ルーブリックについては後述



受講推奨者

- ✓ 蓄電池関連企業およびその他の企業の社員（技術系・企画系）
- ✓ 官公庁・自治体の政策担当者
- ✓ 蓄電池分野へのリスキリングを希望し、共同研究や大学院進学を視野に入れている方

カリキュラム・スケジュール



WASEDA
University

開講期間 2026年10月3日（土）～2027年2月27日（土）

8月

本日

オリエンテーション

研究室紹介

※本日のご参加分も履修時間にカウントされます。

※本日不参加の受講者は受講開始後に研究室紹介動画を視聴することで履修時間にカウントします。

10月 - 2月

講義

10/3

電池産業概論に関する産官学連携講座（8時間）

蓄電池の基礎知識、技術トレンド、電池ビジネスの最新動向、蓄電池の材料、製造、設計、評価・解析、資源、リサイクルに関する幅広い知識を学ぶ。

※対面＋オンライン
（録画アーカイブあり）

オンデマンド講義

随時

BASC提供講座

「電池ビジネスセミナー」

蓄電池関連企業の実務家教員による講義動画（50分×5本予定）

現地視察（希望者）

12月予定

蓄電池製造企業、材料メーカー、リサイクル施設、研究機関等を訪問し、最新の製造技術、研究開発、資源循環の実態を学ぶ。

プロジェクト型演習

10月-2月

担当指導教員とのマッチング後、担当教員との相談のもと、テーマ設定、進め方の調整、指導日程の調整を行い、受講者自身の専門性や所属企業の課題を踏まえた、蓄電池に関連する調査・演習を実施する。

講義内容を発展させ、共同研究、大学院進学、新規事業等につながる課題設定および解決策の検討を行う。

2/27

成果報告会

プロジェクト型演習の成果を発表し、修了審査を行う。

教員・企業関係者との討議を通して成果を共有するとともに、今後の研究・事業展開について検討する。

大学院修士・博士課程への進学

卓越大学院（パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム）への進入

■ 電池産業概論に関する産官学連携講座（10/3）

- 本講座は「対面」でのご参加を原則
- 何らかの事情により対面が難しい場合は、オンラインでの受講も可能
- やむを得ない事情により欠席の場合はアーカイブ録画の試聴にてご受講いただけるように調整

■ プロジェクト型演習（10月～2月）

- 担当教員と指導日程を適宜調整。
- 指導形式（対面・オンラインなど）や進め方も担当教員と相談のうえ、決定

■ 現場視察（12月予定）

- 対面の実施を予定し、参加は任意。
- 現地までの交通費は自己負担（集合場所から視察場所まではプログラム負担）

■ 成果発表会（2/27）

- プロジェクト型演習の成果の修了審査を実施するため、対面での参加を推奨
- 何らかの事情により対面が難しいときは、オンラインでの発表を許可
- やむを得ないご事情で当日の報告が難しい場合は、事前相談

プロジェクト型演習担当教員

早稲田大学理工学術院所属の教員が担当

蓄電デバイス



大久保 将史教授

有機蓄電池



小柳津 研一教授

電池評価



門間 聡之教授

電池材料



國本 雅宏准教授

重要鉱物資源



野崎 達生教授



大内 隆成准教授

再生・資源循環



所 千晴教授



犬束 学准教授



山口 勉功教授



小野田 弘士教授

プロセス工学



野田 優教授

エネルギーマネジメント



林 泰弘教授



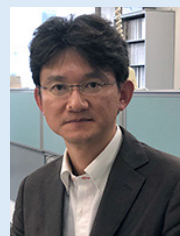
喜久里 浩之准教授

自動車



草鹿 仁教授

EV



紙屋 雄史教授

LCA・MFA



伊坪 徳宏教授



天沢 逸里准教授

ライフサイクル工学



福重 真一教授



評価について（ルーブリック評価）

12月、成果報告会終了後の2回、ルーブリックで自己評価を行い、自己成長を確認

ルーブリック評価項目

	A+	A	B	C
専門性： 蓄電池の技術知識 ＋社会情勢の理解	・蓄電池分野に加え、関連する他分野の知識を統合し、次世代の技術動向や市場課題に対して独自の深い洞察を提示できる	・蓄電池の複数の主要技術やプロセスと社会情勢の関連性を正しく理解し、標準的なビジネスプランや研究計画に反映できる	・蓄電池における自分自身の専門分野の原理や特性を正しく理解し、説明できる	・講義で扱った蓄電池の基礎用語や原理、および現在の市場動向について概ね理解し、説明することができる
実践力： 自ら課題を見つけ、事業化、共同研究、博士・修士研究へつながる解決策を提案できる	・自ら立案した解決策をもとに、具体的な新事業の立ち上げ、共同研究の開始、あるいは博士・修士論文の主要な研究課題としての採択が現実視されるレベルの高度な計画を提示できる	・設定された課題に対し、論理的な根拠に基づいた現実的な解決策を提示し、将来的な事業化や共同研究への発展可能性を具体的に示すことができる	・自分自身の専門領域に関連する具体的な課題を特定し、既知の手法を用いて研究テーマや業務改善案として成立するレベルのアプローチを組み立てることができる	・提示された課題の背景を理解し、講義内容を応用して、今後の研究や実務に活かせる一定の回答を導き出すことができる
協働・発信： 専門外を含む他者を巻き込み、伝える力	・専門性の異なる多様な関係者に対し、最適な表現で検討結果を伝え、共感や協力を引き出すリーダーシップを発揮できる	・自身の考えを論理的かつ平易に記述・発表でき、チームでの合意形成や円滑な連携に貢献できる	・自分自身の専門知見に基づいた意見を明確に述べることができ、担当範囲における役割を果たすことができる	・基本的な報告・連絡・相談ができ、他者の意見を尊重しながらワークショップや演習に参加できる

修了要件

- 60時間以上の履修（自身での調査研究時間を含む）
- 成果報告会時の審査に合格

修了証

- 履修証明書の授与（要件：60時間以上の履修報告）
- オープンバッジの発行

※本プログラムは、文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」の2026年度採択事業として実施されるため、修了後の受講者評価アンケートやヒアリングにご協力をお願い申し上げます

受講申込について

定員

20名程度

受講要件

1. 高等専門学校を卒業された方、または学士以上の学位を有する方（必須）
2. 将来、大学院への進学や研究室との共同研究を希望される方（推奨）

選考

提出書類による書面審査

提出書類

1. 履歴書 [（様式リンク）](#)
2. 志望理由書
3. 推薦書（※担当予定教員への事前相談がない場合のみ提出）

※上長または早稲田大学教員によるもの（書式自由、PDF 形式、1 ページ程度）

受講料

無料

※本プログラムは、文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」の2026年度採択事業として実施されるため、今年度（2026年度）の受講料はかかりません（次年度以降は有償での実施を予定しています）

受講申込方法、合格発表

申込期間

2026年7月17日（金）～8月31日（月）

申込方法

申込フォームに必要情報と書類を添付して送付

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=VaEFNEYV-IkBEcIKICgZFQ>



申込フォームQR

合格発表

9月上旬（予定）

※受講要件の確認として、受講開始時まで最終学歴の卒業・修了証明書等が必要です。
提出方法の詳細は、合格通知にて案内します。

お問合せ

早稲田大学リ・バッテリー・アカデミー事務局

sci-edu-pj@list.waseda.jp

※お問い合わせは、原則メールでいただきますよう、お願いいたします。